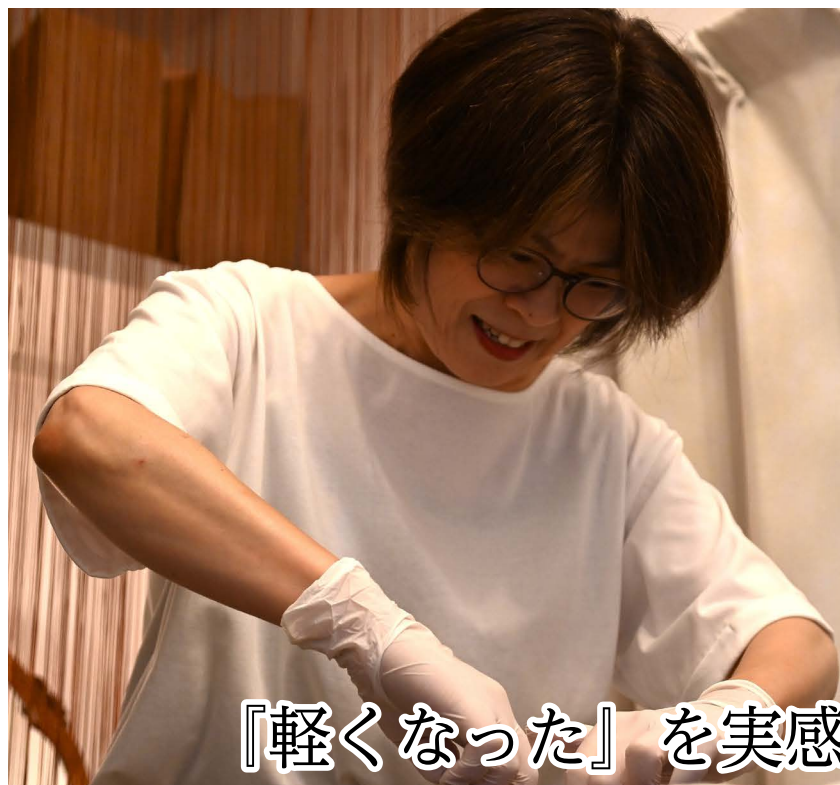




ETAJIMA GoON! Vol.59

お口整えサロン ロッ・カル 店主

はたおか きよみ
畠岡 清美 さん

【活動紹介】

歯科衛生士が届ける口腔内エステで食いしばりや不調を和らげ『口を軽く（ロッ・カル）』して今と未来を元気にするお口のサロン。

口腔内を直接触れる専門的なケアと、お顔まわりのケアをオールハンドで行い、至福のひとつときを提供する。女性限定のサロンのため気兼ねなく過ごせる。

『軽くなった』を実感してもらいたい。

「口が軽い」と聞くとおしゃべりで言うてはいけないことまで言うといったマインナスな言葉として受けてしまう。ただ違った角度からこの言葉を聞くととらえ方は大きく変わる。

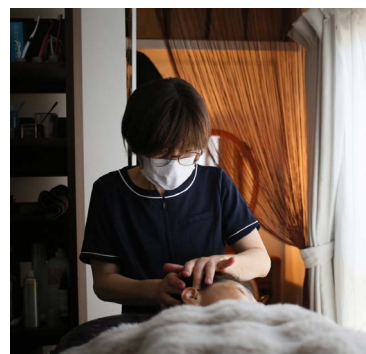
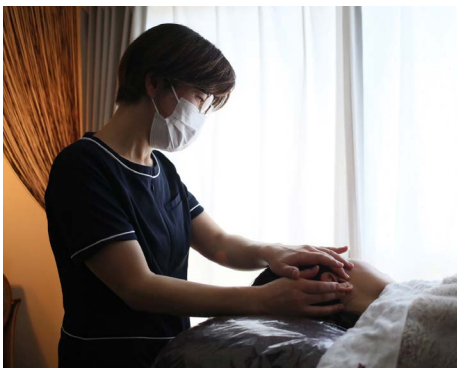
大柿町大原にある「お口整えサロン ロッ・カル」は歯科衛生士である畠岡清美さんが営む口腔内エステやフェイシャルエステ・デコルエステを行う女性限定のエステサロンで、3月にオープンしたばかりのお店だ。自宅の一室を改装した施術室は、少し暗めの照明に整理された棚と静かな雰囲気。スタッフが丁寧に施術をしてくれたいという気持ちで施術を受ける。そんな中、ある動画に刺された祖母が施術を通して元気を取り戻していくといった動画だ。「歯科衛生士として

自分にもまだできることがあるのではと思いました。」以前から口腔内エステには興味があった畠岡さんは、この先生のもとで口腔内エステを習った。

口腔内エステを実際に体験してみると、施術前と後で顔まわりの変化に驚いた。「サロンではリラックスしてもらい、起き上がったときの『軽くなった』を実感してもらいたい。」と畠岡さん。店名にもある通り「ロッ・カル（口を軽く）」とはこのことかと気づいた。

やわらかい口調の畠岡さんの説明を受け、顔まわりだけでなく、気持ちもなんだか軽くなった気がした。

「施術をお断りすることもありますよ。」少し驚いたが



説明を聞いて納得した。お店では注意事項もしっかり定めている。お客さんには『軽くなった』を実感してもらいたいのに痛みや腫れを我慢されては意味がない。歯科衛生士として経験を積んできた畠岡さんだからこそその想いである。

歯医者に行くとなると恐怖心からか、少しでも不安になる。そういったお客さんの気持ちを感じてきたからこそ硬くなった気持ちをフツと解放する必要がある。ここへ来ると自然とそうなる。

「地域の人が気軽に立ち寄れる場所になりたい。」歯科衛生士の畠岡さんだからこそできる地域との関わり方。まわりの人がお口から健康になり「口福」な時間を過ごせることを期待する。

店舗
情報

お口整えサロン
ロッ・カル



Instagram

所 江田島市大柿町大原
(能美大原バス停徒歩1分)
休 火・金曜日、第2・4日曜日

施術をお断りする場合があります。
インスタグラムに掲載の注意事項をご確認いただき予約してください。

つむぐ通信

シリーズ連載 その122

【江田島市地域おこし協力隊】

観光事業総合プランナー	山田 京子
オリブブランドクリエイター	鉄増 千夏
里海コーディネーター	向井 綾香
プロモーション推進員	西尾 国弥
沖まちづくり協力隊	前谷 圭祐
観光事業総合プランナー	サミラ クマーラ
大柿高等学校活性化コーディネーター	前田 脩人

今月は
サミラ クマーラ さん



「つむぐ通信」では、地域おこし協力隊員が、月替わりで活動内容やイベントなどのお知らせ、地域おこしに関する企画や提案を紹介していきます。

Instagramで情報を発信しています

江田島市地域おこし協力隊



海外向けにプロモーション

6月は、海外向け民泊PR資料の作成を中心に、市観光協会ホームページの分析、SNS用PR動画の企画、レンタサイクル予約ページの改善提案などを行っています。

海外向け民泊PR資料では、海外の学校や旅行関係者に、江田島市の民泊と体験型観光の魅力を伝えることを目指しています。江田島市の美しい自然や文化だけでなく、地域の方との交流や島の暮らしを体験できることも大切な魅力です。外国人にも分かりやすく伝わるよう、英語表現や情報の構成を工夫しながら作成を進めています。

また、市観光協会ホームページについて、観光客が必要な情報を簡単に見つけられるか、ページの構成が分かりやすいか、海外向け情報が十分に掲載されているかなどを確認しています。レンタルサイクル予約ページについても、利用者の立場から問題点を整理し、より簡単に予約できるよう、表示方法や使いやすさに関する改善案をまとめています。

商工観光課のチームミーティングでは、江田島市の魅力を短い動画で伝え

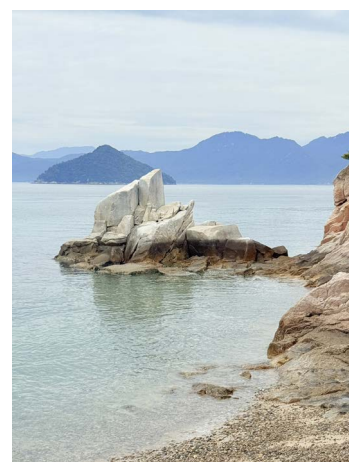
江田島市の魅力を海外と若い世代へ
江田島市地域おこし協力隊観光事業総合プランナーのサミラクマーラです。私は現在、地域おこし協力隊として、観光PRや海外向けの情報発信、観光サービスの改善に取り組んでいます。



るSNSプロモーションについて話し合いました。今後は、海外からの観光客や若い世代など、ターゲットを明確にした動画を制作し、江田島市への関心を高めていきたいと考えています。

大学生とのワークショップ

6月28日には、広島修道大学のサークル「江田島に行こう!」との交流会に参加しました。約1時間半のワークショップを通じて、学生の皆さんと江田島市の観光や地域の魅力について意見を交換しました。若い世代の視点や新しいアイデアを知ることができ、私にとっても大変良い経験になりました。



江田島市での生活

江田島市で暮らし、島の皆さんと出会ったことを、私はとてもうれしく思っています。皆さんはとても親切で、いつも温かく私たち家族を支えてくださいます。また、私と家族に釣りの方なども教えていただきました。家族で江田島市の海に親しむことができ、本当に楽しく、心に残る貴重な経験となりました。このような人とのつながりや体験を通して、私は江田島市がますます好きになりました。

これからも、海外向け情報の充実と観光サービスの利便性向上を進め、国内外のより多くの方に江田島市の魅力を伝えられるよう活動していきます。

